



複数の VIM への仮想ネットワーク機能の展開

- [複数の VIM への仮想ネットワーク機能の展開 \(1 ページ\)](#)
- [マルチ VIM 展開でサポートされる機能 \(2 ページ\)](#)

複数の VIM への仮想ネットワーク機能の展開

ここでは、Elastic Services Controller (ESC) の展開シナリオと、OpenStack、Cisco Cloud Services Platform (CSP)、vCloud Director (vCD) などのさまざまなタイプの VIM を展開する手順について説明します。



- (注)
- ESC テナントは、マルチ VIM タイプの展開に必要です。
 - 同じ展開間アンチアフィニティからの展開は、すべての vm_group で同じ VIM に展開する必要があります。

次の表に、ESC VM および VNF 展開の VIM タイプでサポートされるマトリックスを示します。

表 1: ESC VM および VNF 展開の VIM タイプのサポートマトリックス

ESC VM のインストール先	OpenStack	vCloud Director	Cisco Cloud Services Platform
OpenStack	サポート対象	サポート対象	サポート対象
VMware vCenter	サポート対象	サポート対象	サポート対象

サンプルの展開モデル

```
<?xml version="1.0"?>
```

```

<esc_datamodel xmlns="http://www.cisco.com/esc/esc">
  <tenants>
    <tenant>
      <name>VCDNCTestMVTypeDeployment-Tenant</name>
      <vim_mapping>>false</vim_mapping>
      <deployments>
        <deployment>
          <name>VCDNCTestMVTypeDeployment-Dep</name>
          <vm_group>
            <name>VCDNCTestMVTypeDeployment-VCD-Group</name>
            <vim_vm_name>jenkins-VCDNCTestMVTypeDeployment-VCD-VM</vim_vm_name>
            <locator>
              <!-- vCD vim connector id -->
              <vim_id>VCD1</vim_id>
              <!-- vCD organization -->
              <vim_project>VAR{CFG{TARGET_LAB_0}:VCD_ORG1}</vim_project>
              <!-- vDC name -->
              <vim_vdc>VAR{CFG{TARGET_LAB_0}:VCD_ORG1_VDC1}</vim_vdc>
            </locator>
            <interfaces>
              <interface>
                <nicid>0</nicid>
                <network>VAR{CFG{TARGET_LAB_0}:VCD_MGT_NETWORK}</network>
                <ip_address>VAR{CFG{TARGET_LAB_0}:VCD_MGT_NETWORK_IP_BASE}.VAR{CFG{TARGET_LAB_0}:STATIC_IP_RANGE}.0.2</ip_address>
              </interface>
            </interfaces>
          </vm_group>
          <vm_group>
            <name>VCDNCTestMVTypeDeployment-OS-Group</name>
            <vim_vm_name>jenkins-VCDNCTestMVTypeDeployment-OS-VM</vim_vm_name>
            <locator>
              <vim_id>Openstack1</vim_id>
              <!-- VIM Project = OOB Tenant -->
            </locator>
            <vim_project>REPLACE_WITH_GENERATED_OOB_PROJECT_NAME_FOR_CFG{TARGET_LAB_1}</vim_project>
            <interfaces>
              <interface>
                <nicid>0</nicid>
                <network>VAR{CFG{TARGET_LAB_1}:MANAGEMENT_NETWORK}</network>
              </interface>
              <interface>
                <nicid>1</nicid>
                <network>VCDNCTestMVTypeDeployment-Net-2</network>
              </interface>
            </interfaces>
          </vm_group>
        </deployment>
      </deployments>
    </tenant>
  </tenants>
</esc_datamodel>

```

マルチ VIM 展開でサポートされる機能

次の表に、マルチ VIM 展開環境でサポートされるすべての機能を示します。

表 2: マルチ VIM 展開でサポートされる機能

機能	OpenStack	Cisco Cloud Services Platform	vCloud Director
複数の VM グループによる展開	サポート対象	サポート対象	サポート対象
単一の VM グループによるマルチ展開	サポート対象	サポート対象	サポート対象
展開の拡大縮小	サポート対象	サポート対象	サポート対象
展開の更新	サポート対象	サポート対象	サポート対象
エフェメラルネットワーク用の VIM ロケータ	サポート対象	サポート対象	サポート対象
リカバリ	サポート対象	サポート対象	サポート対象
LCS 通知	サポート対象	サポート対象	サポート対象
VM 操作 <small>start/stop/start/resize/monitor/enable/disable</small>	サポート対象	サポート対象	サポート対象
OpenStack での ESC (デフォルト VIM あり/なし)	サポート対象	サポート対象	サポート対象

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。